

業務用清掃ロボット最前線サードステージ

～特別パネルディスカッション～

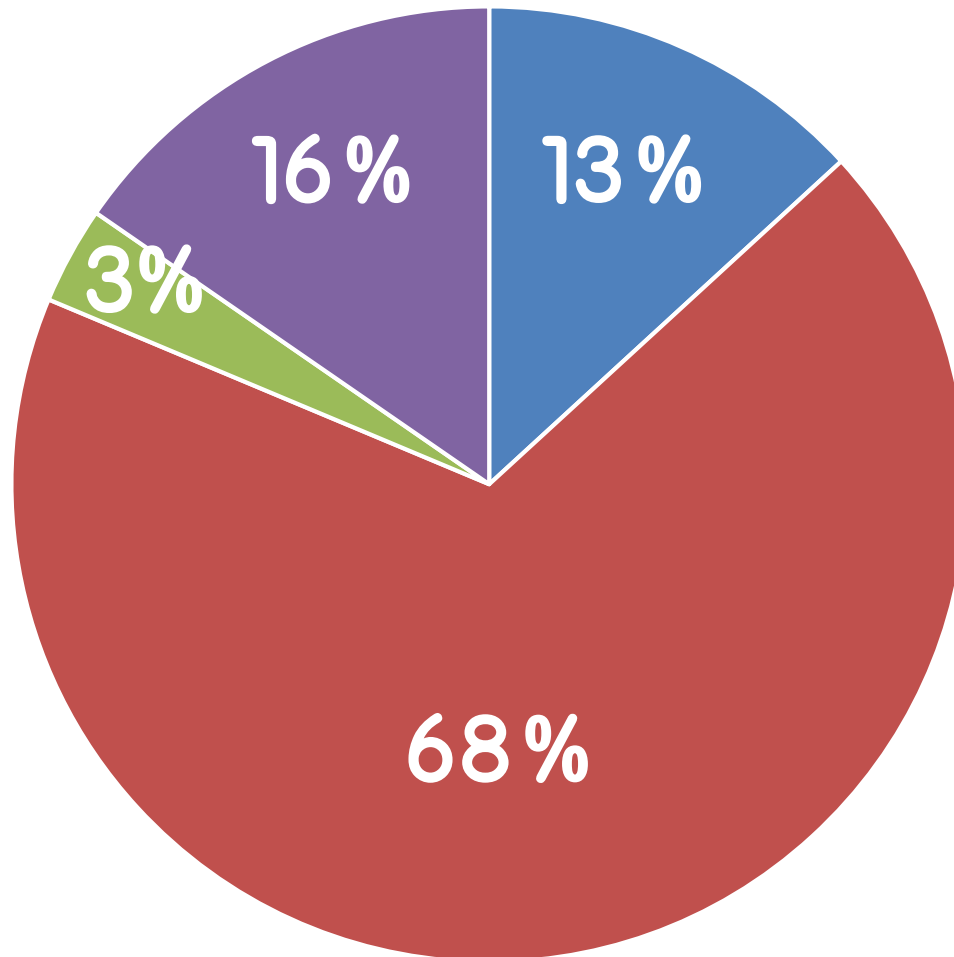
聴講者アンケート集計結果

文責：パネルディスカッション・コーディネーター

日本ビルメンロボット協議会 特別顧問 田中幸仁

アンケート回答者について

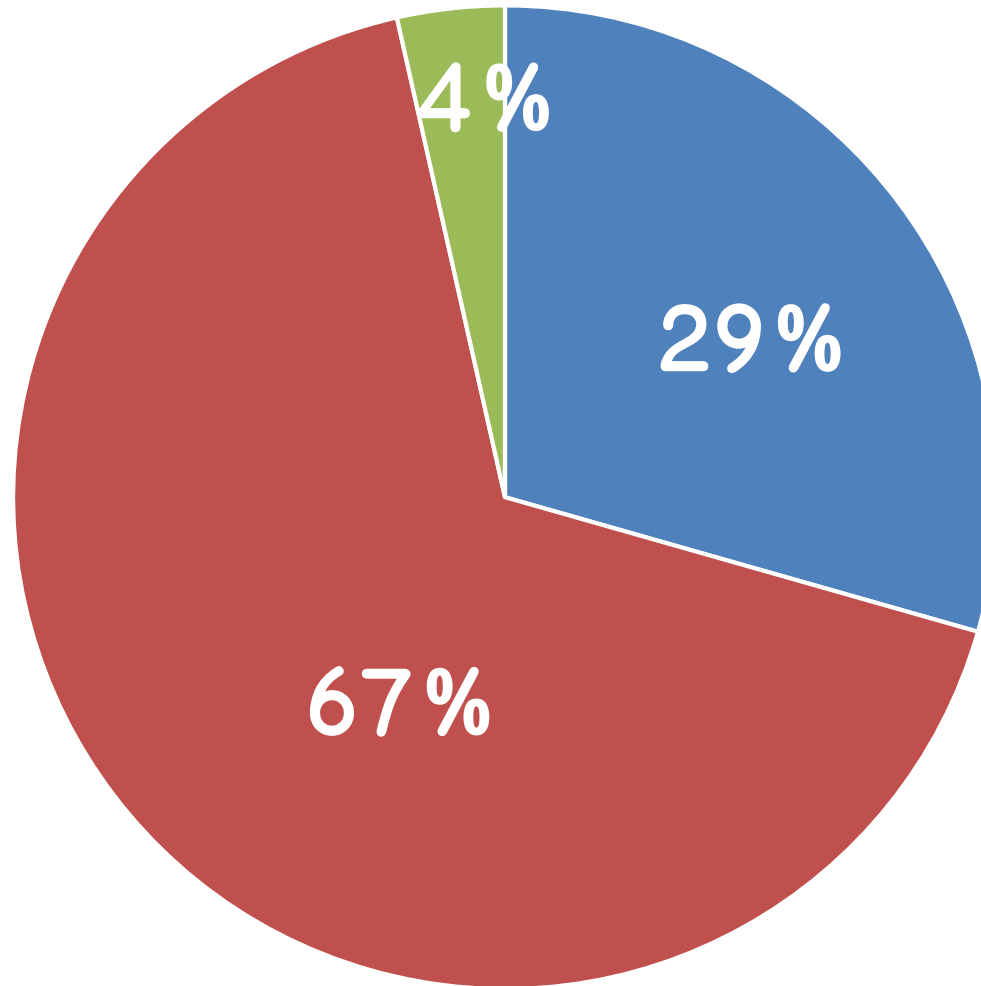
N=91



- オーナー
- ビルメンテナンス
- ロボット
- その他

設問1.パネルディスカッションについて

N=91

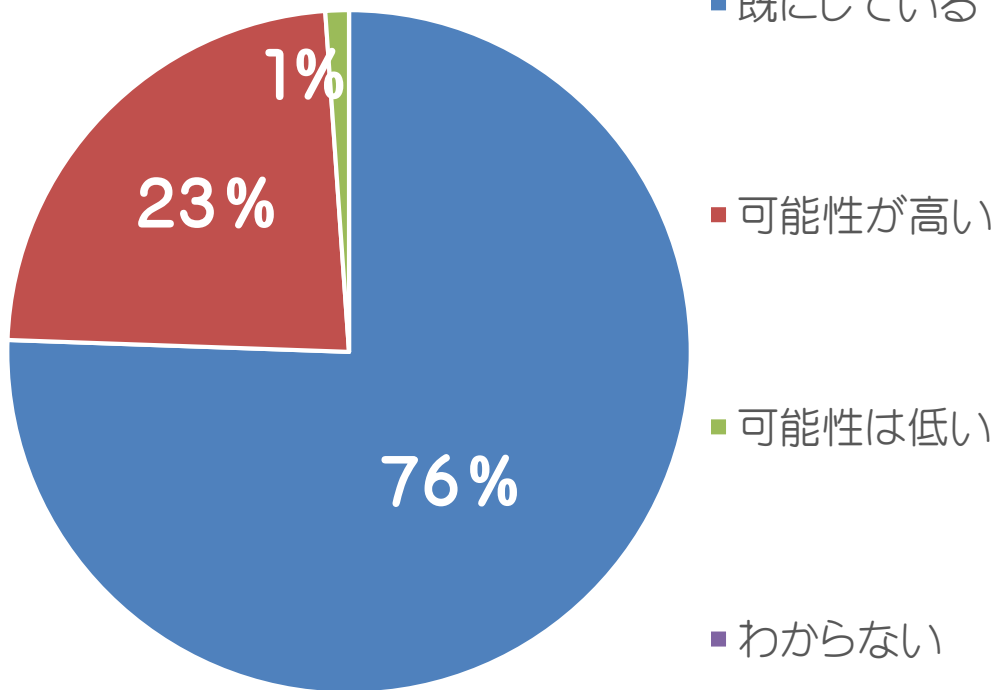


- 大変参考になった
- 参考になった
- 参考にならなかった
- わからない

設問2.人手不足が深刻化する可能性について

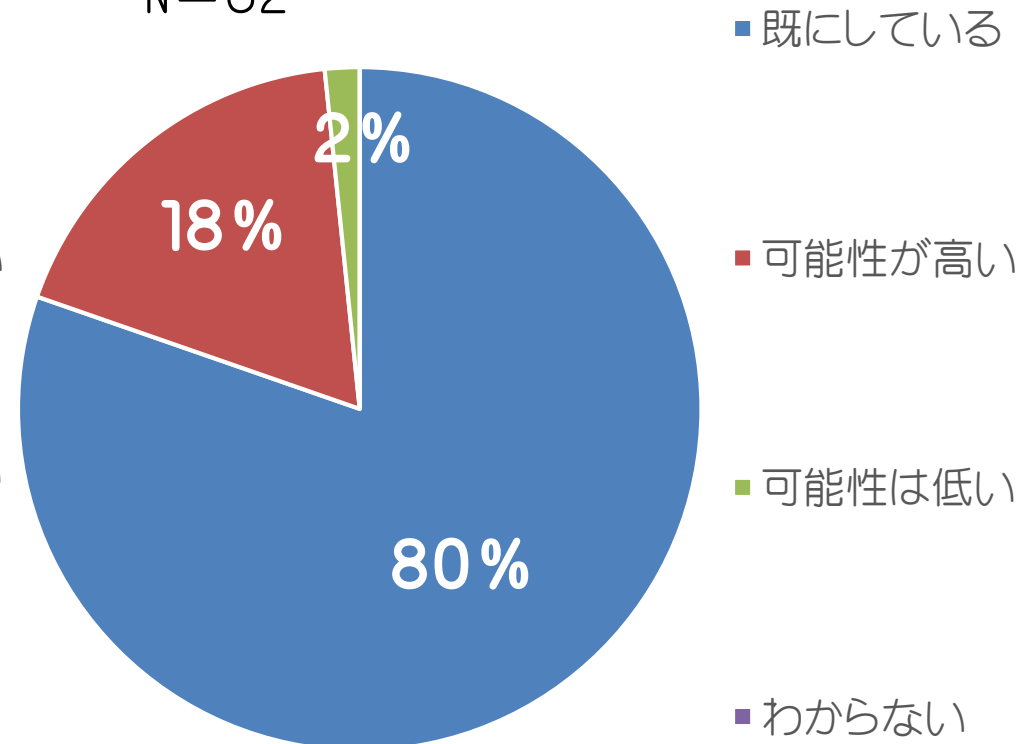
全 体

N=91



うちビルメン

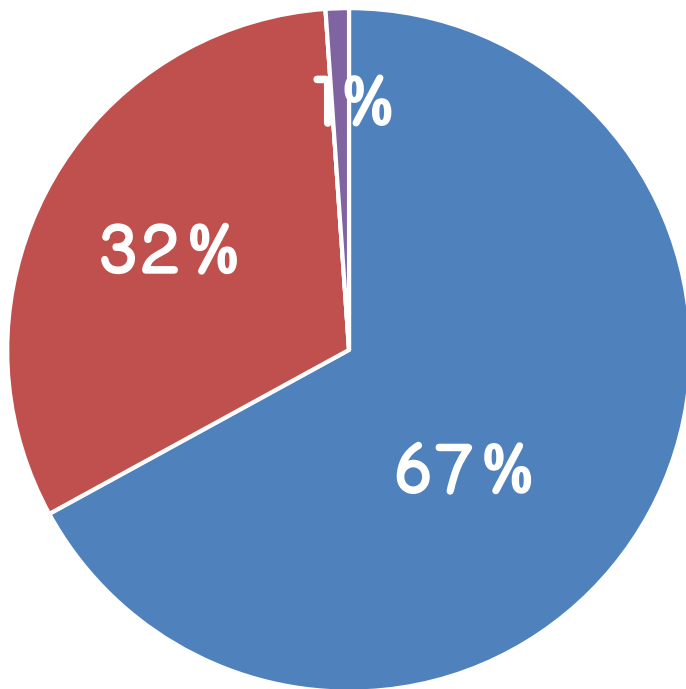
N=62



設問3.業務用清掃ロボット活用に向けた関係者 (オーナー、ビルメン、メーカー)の協力体制 について

全 体

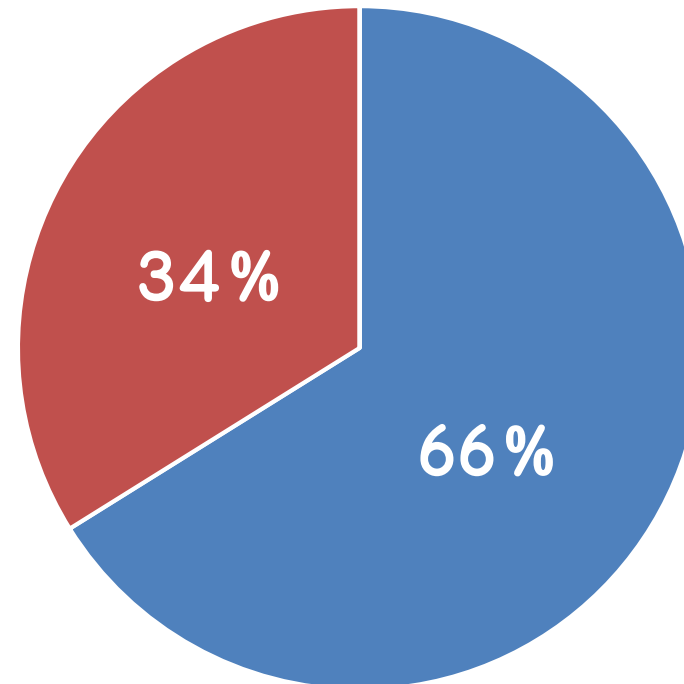
N=91



- 大変必要
- 必要
- 必要ない
- わからない

うちビルメン

N=62

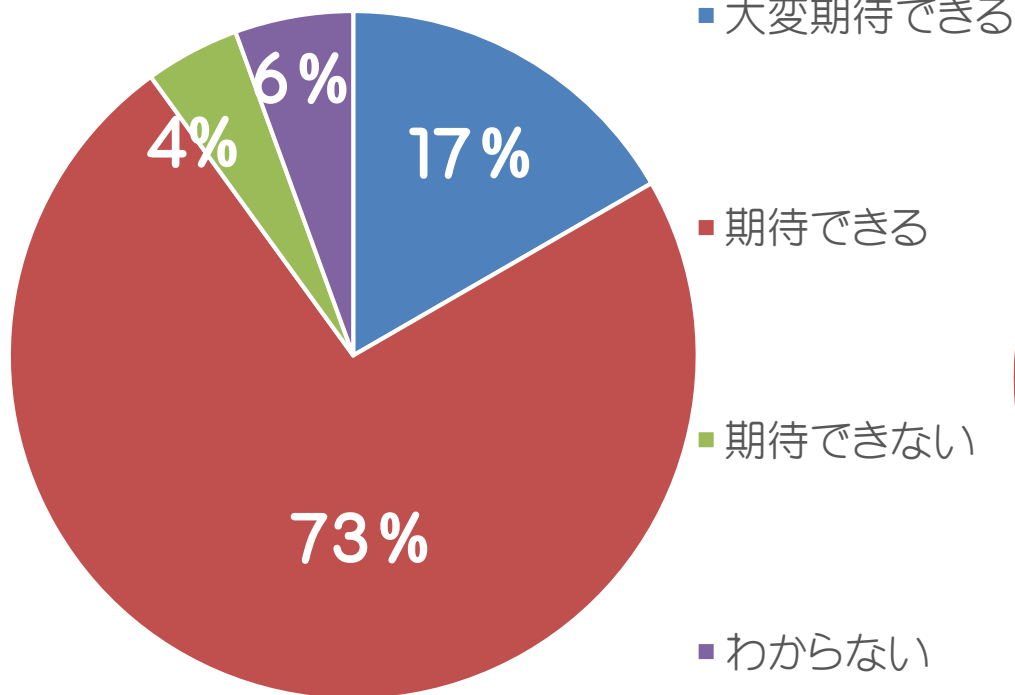


- 大変必要
- 必要
- 必要ない
- わからない

設問4.業務用清掃ロボット活用による清掃品質の均質性について

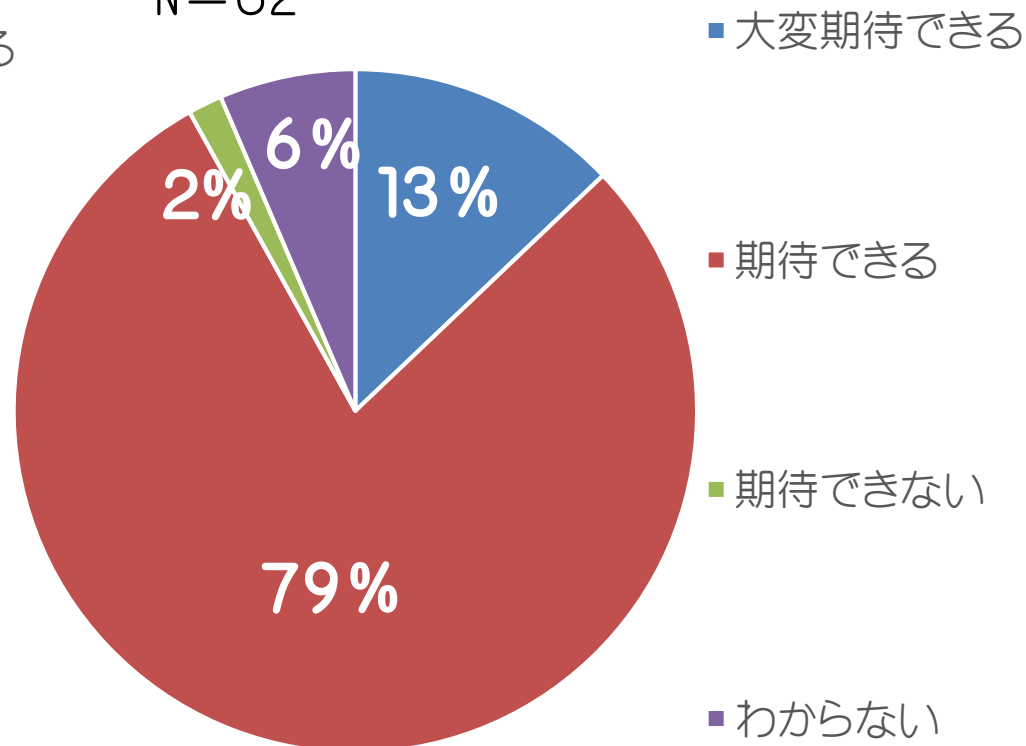
全 体

N=91



うちビルメン

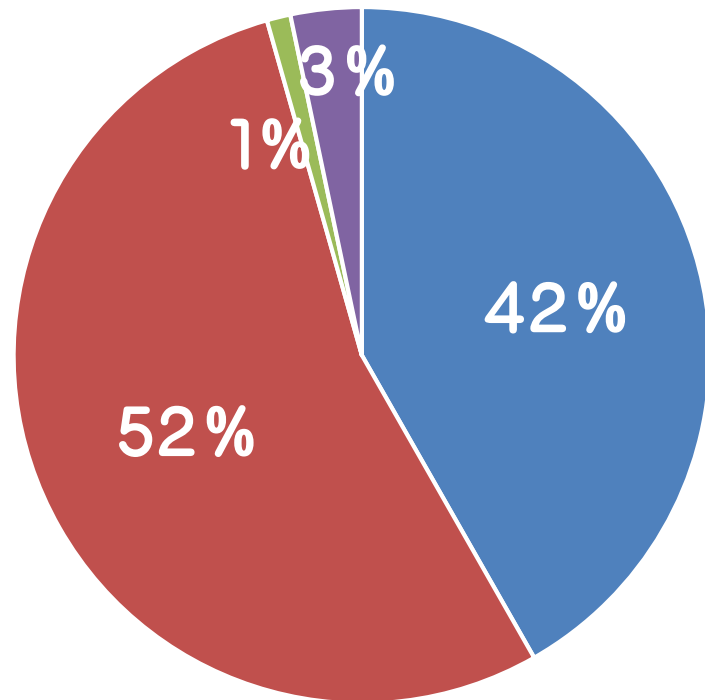
N=62



設問5.業務用清掃ロボットの稼働状況の確認機能、 清掃履歴の記録機能について

全 体

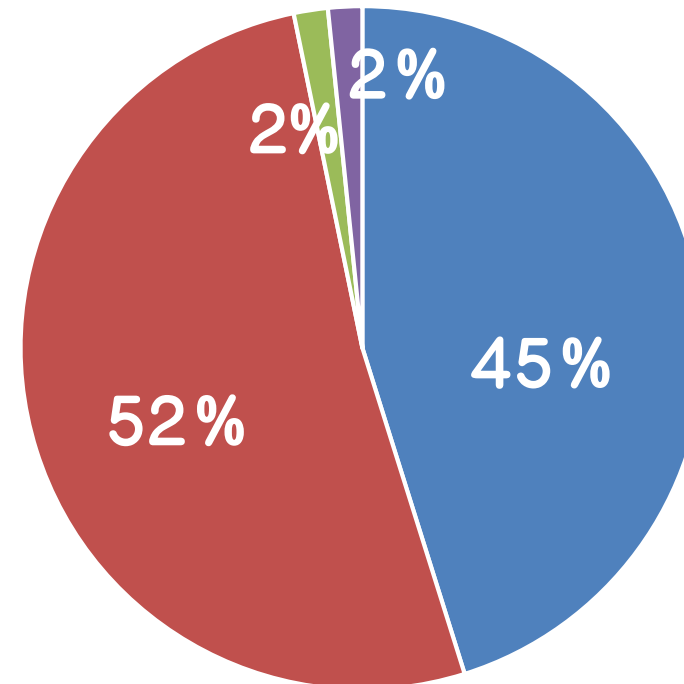
N=91



- 大変必要
- 必要
- 必要ない
- わからない

うちビルメン

N=62

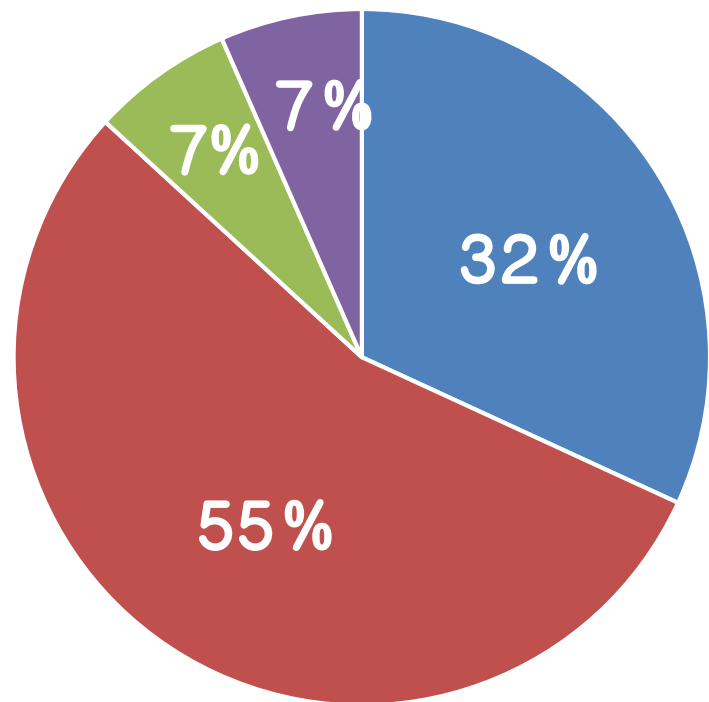


- 大変必要
- 必要
- 必要ない
- わからない

設問6.業務用清掃ロボットによるエレベーター昇降について

全 体

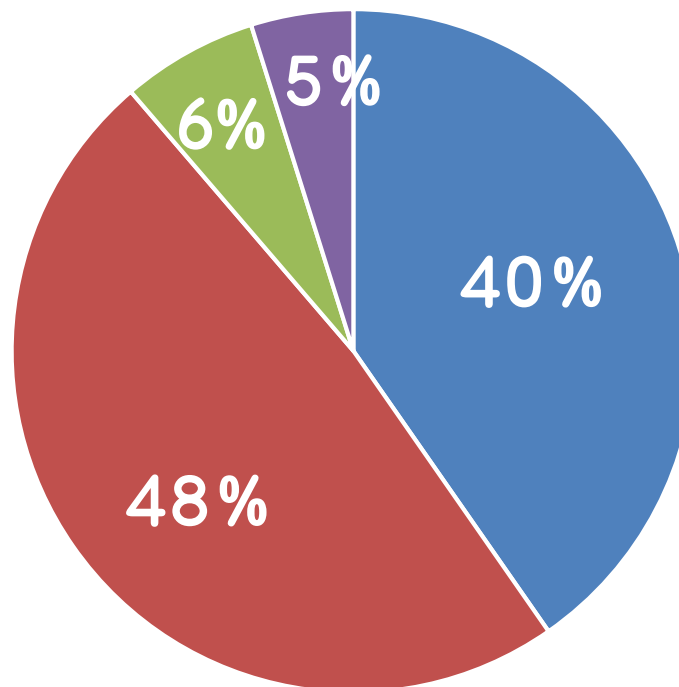
N=91



- 大変必要
- 必要
- 必要ない
- わからない

うちビルメン

N=62

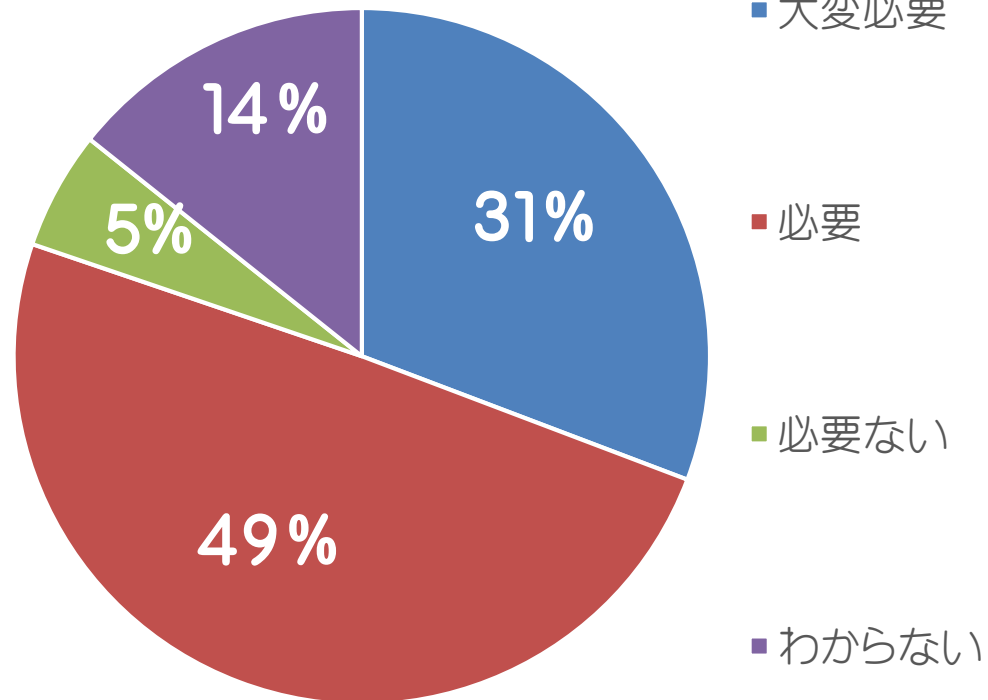


- 大変必要
- 必要
- 必要ない
- わからない

設問7.業務用清掃ロボットと機械警備の連携について (夜間の自動清掃について)

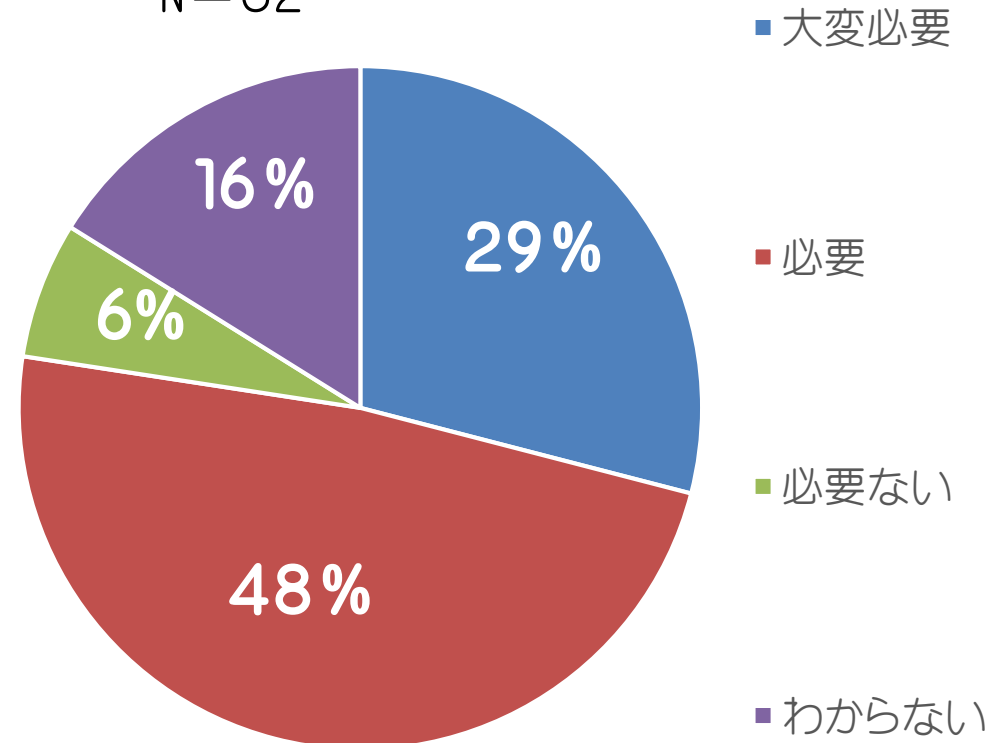
全 体

N=91



うちビルメン

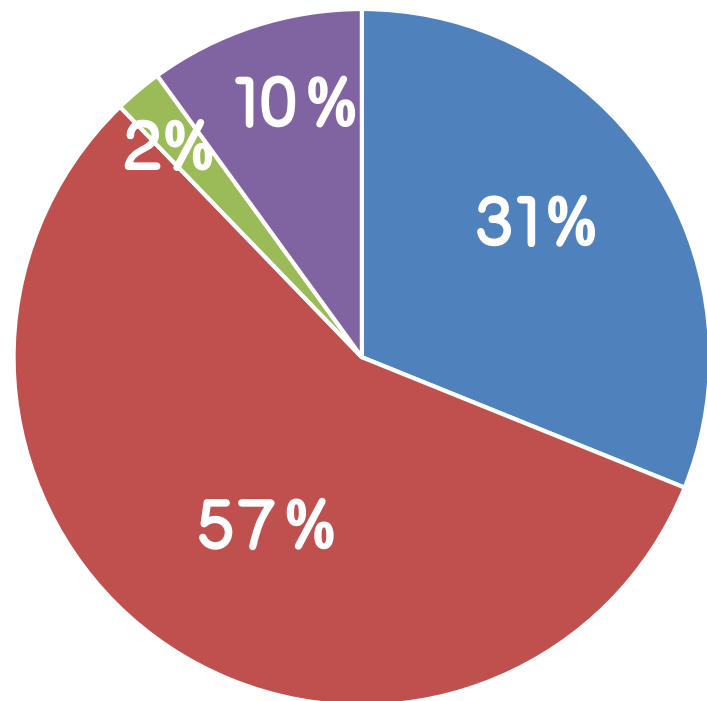
N=62



設問8.業務用清掃ロボットの機能や性能の規格化や標準化について

全 体

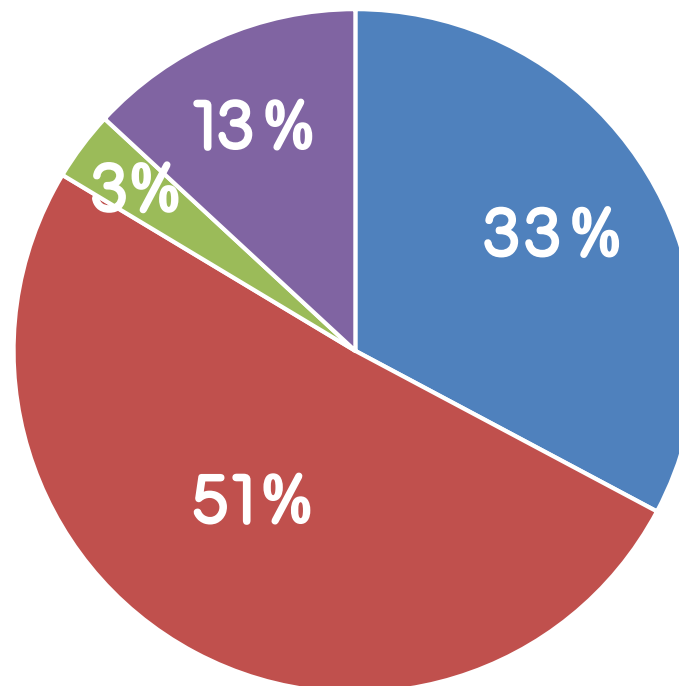
N=91



- 大変必要
- 必要
- 必要ない
- わからない

うちビルメン

N=62

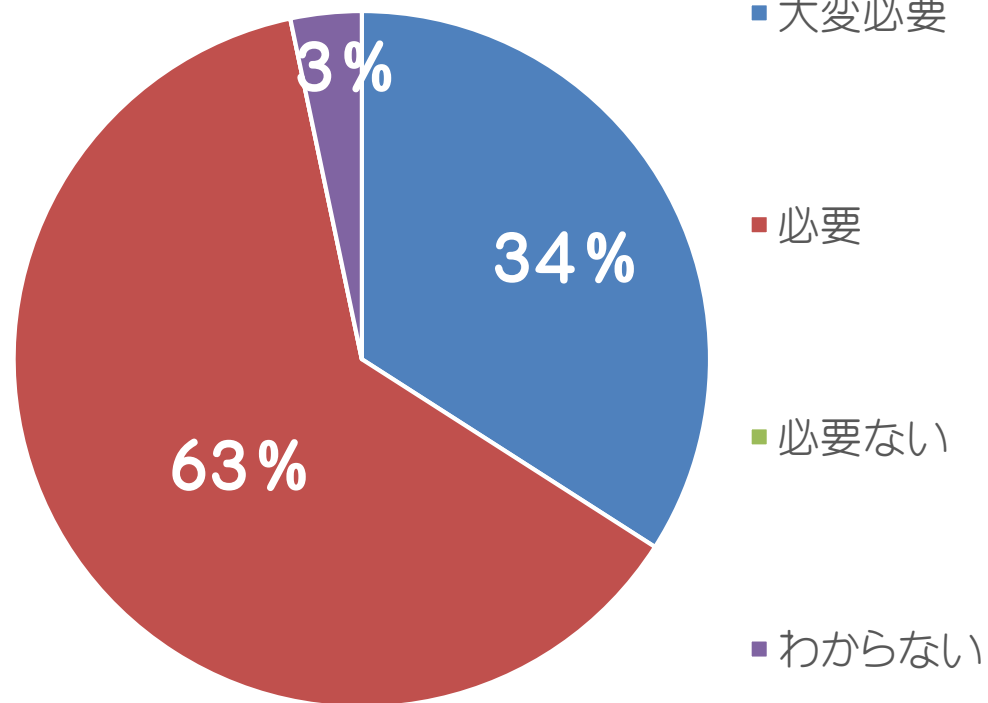


- 大変必要
- 必要
- 必要ない
- わからない

設問9.業務用清掃ロボットの導入方法が学べる講習やテキストについて

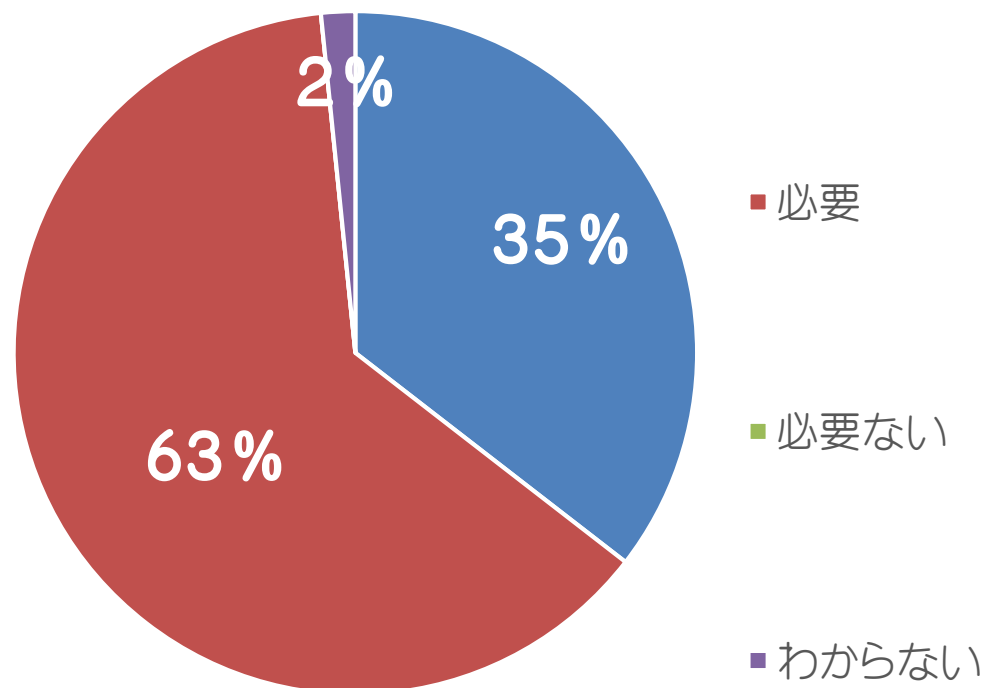
全 体

N=91



うちビルメン

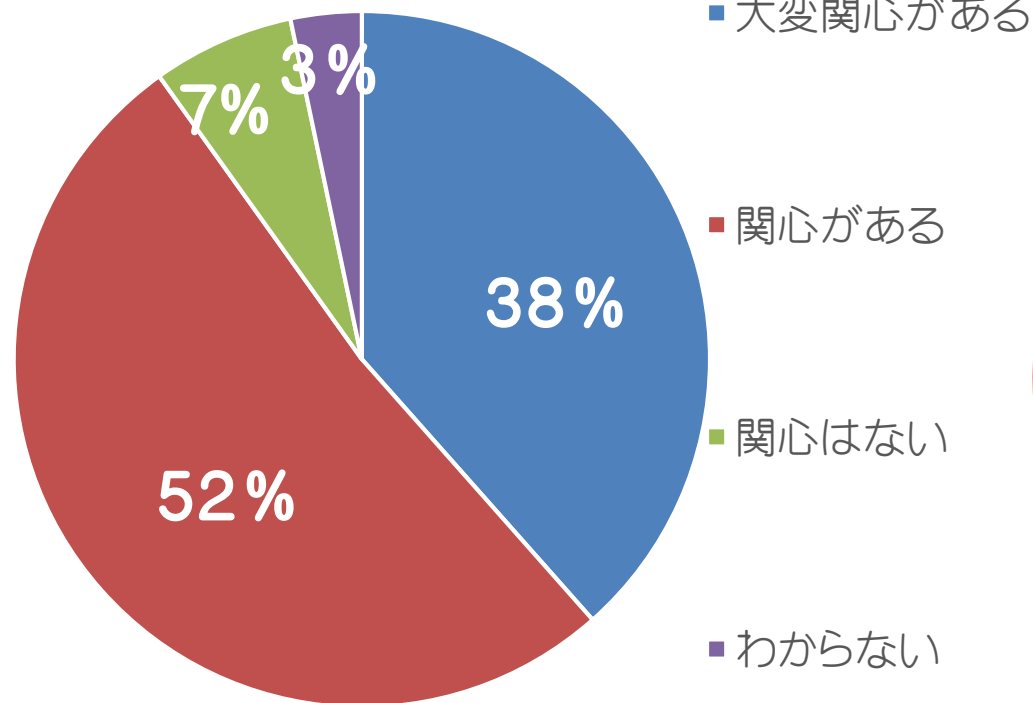
N=62



設問10.業務用清掃ロボットのレンタルサービスについて

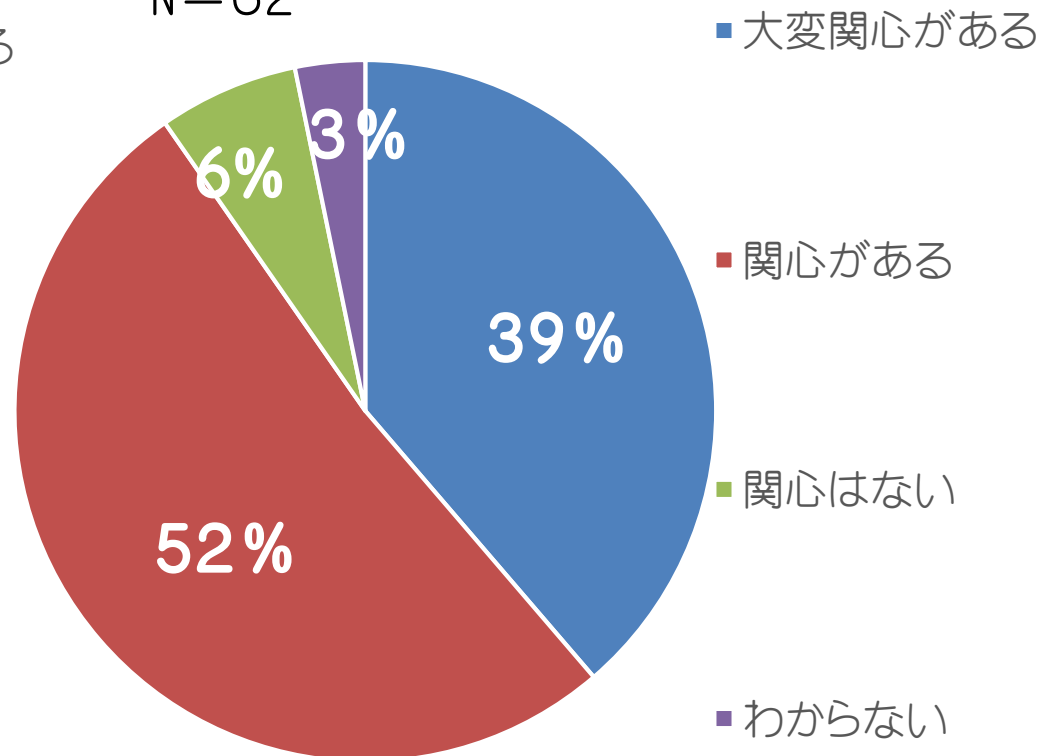
全 体

N=91



うちビルメン

N=62



主な御意見

実機の確認してからレンタルで現場での導入実証できる形が望ましい。(オーナー)
施設清掃における性能発注についての議論をもっと深めて欲しい。(ビルメン)
デモ機を借りて試行している、活用に向けていろいろな情報が欲しい。(ビルメン)
スタッフの多能工化の道具としてロボットに期待している。(ビルメン)
レンタルサービスの存在や各社の積極的な活動を知ることができ参考になった。(ビルメン)
討議の時間が短かった。オーナー目線ではなく、現場視点での具体的な事例紹介があると良かった。(ビルメン)
導入事例の話が参考になった。(ビルメン)
討議の時間が短かった。映像の文字が小さい場合は、きちんと資料を配布して欲しい。(ビルメン)
導入のハードルが高いため、手軽に始められるシステムなどが必要。(ビルメン)
ロボットに仕事が奪われず、共存できることが大切。(ビルメン)
オーナー、ビルメン、メーカーが一丸となって取り組むことが必要だと感じた。(ビルメン)
会社紹介より導入事例や討議に時間を使って欲しかった。(ビルメン)
業務用清掃ロボットの講習会や発表会を開催して欲しい、もっと情報を入手したい。(ビルメン)
清掃分野でロボット導入が急速に進んでいる状況がよく理解できた(ロボット)
自己紹介時間が長すぎる。(その他)
床面が内容が中心だが、トイレ清掃の機械化はどうなっているのか。負担が大きい作業である。(その他)
自己紹介が長すぎた、もっと導入事例の話を聞きたかった。(その他)
警備、運搬、清掃それぞれ最適な充電の仕方、電池の仕様などについて聞いてみたかった。(その他)

特別パネル ディスカッション

[会 場] 東京ビッグサイト 西3・4ホール ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXP02018内 講演会場A
[講演日時] 2018年11月22日(木) 15:00~16:30
[主 管] 一般社団法人日本能率協会 [協 賛] 日本ビルメンロボット協議会

◇ 業務用清掃ロボット最前線サードステージ

～ビルオーナー、ビルメンテナンス、ロボット各分野有識者による特別パネルディスカッション～

3年目となる今年の業務用清掃ロボットのパネルディスカッションは、最も活用可能性が高いとされるオフィスビルを焦点に当て、ロボット、ビルメンテナンス、オフィスビル、ファシリティマネジメントなど各分野の有識者が登壇いたします。

『オフィスビルにおける導入・活用状況』、『レンタルサービスという新しい選択肢』、『業務用清掃ロボットの清掃性能に関する研究結果』など最新の情報も交えながら、業務用清掃ロボットの本格的な社会実装に向けて必要とされる取組などについて活発な議論を予定しています。

登壇パネリストご紹介

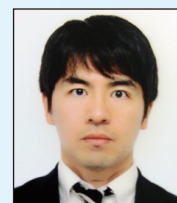
(敬称略)

日本ビルメンロボット協議会 特別顧問

田中 幸仁(経済産業省)

1977年、山梨県生まれ。早稲田大学教育学部卒業。2002年、経済産業省入省。

専門は、『ロボット政策』。現場主義を徹底し、全国各地を飛び回る霞ヶ関では異色の公務員。有識者として、ロボット関連の講演、マッチング会、調査事業等の実績多数。業務用清掃ロボットが普及する契機となった第21回世界ビルメンメンテナンス大会のコーディネーターを務め、全国各地の業務用清掃ロボットに関する活動を支援してきた業界の(自称)応援団長。「業務用清掃ロボットの社会実装に必要な各分野のキーマンが勢揃いする特別企画です、お楽しみに!!」



三菱地所株式会社 ビル運営事業部 兼 経営企画部 デジタルトランスフォーメーション推進室 統括 渋谷 一太郎

1980年、千葉県生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。2003年、三菱地所株式会社入社。

法務部門を経て関西に転勤し、神戸でのタワーマンションの開発・グランフロント大阪のリーシング・オフィス運営管理を担当後、2013年に東京に戻り、昨今の人手不足の状況に対応するため、ロボット等の先端技術を活用した次世代型施設運営管理の構築を担当。

東京・丸の内内の行幸地下通りや新丸ビル、横浜ランドマークタワー等で複数の清掃ロボットの活用実験を実施した結果も踏まえ、ビルメン業界の働き方改革も目指して、ビルオーナーサイドとしても、ロボット普及のための課題解決と仕組み作りに挑んでいる。「実際に現場で働く皆様の声もしっかり聞いた上で、人とロボットが寄り添う街づくりができればいいなと思っています。」



グローブシップ株式会社 営業三部長代理

渡辺 健一郎

1974年埼玉生まれ。2007年、株式会社ビル代行(現:グローブシップ株式会社)入社。清掃現場責任者、営業開発部課長を経て、現在は営業部門の部長代理。

昨年ロボット開発部特任プロジェクトを発足させ、委員長として各メーカーや大学と協力しながら、清掃ロボットの実用化、導入プロセスの確立を目指す。清掃ロボットの実用化は業界の発展だけではなく、深刻化する人手不足や人的コスト上昇などの課題解消の起爆剤になると考えている。

「主に現場ニーズや要望を調査分析し、現場運営に貢献・反映できる取組みを進めております。FMIに関してもお話できればと思いますのでよろしくお願いたします。」

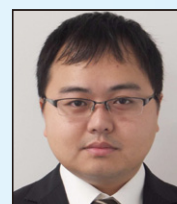


グローブシップ株式会社 安全品質推進部

田中 義康

1983年、東京生まれ。学生時代から様々な仕事を経験し、現在は安全品質推進部に在籍し、様々な現場をサポートしている。ロボット開発特任プロジェクトに参加後、メンバーの一員として、様々な現場をサポートする中で得た知識と経験や、安全と品質という所属部門特有の視点から、清掃ロボットの導入への疑問点、問題点の解決方法等を提案し、新たなロボットサービスのあり方に向けて取り組む。

「清掃ロボットを導入するにあたり、「どう使えばいいのか」と言う悩みがあると思います。パネルディスカッションを通じ、お話できればと思います。」



株式会社アクティオ 上席執行役員 新規事業開発部長 ロボットセンター長

糸賀 浩延

1961年東京生まれ。1985年センチュリー・リーシング・システム(株)(現東京センチュリー(株))へ入社。2017年4月(株)アクティオへ出向。2018年1月より現職。2018年7月設立の日本ビルメンロボット協議会の初代会長に就任。

2017年5月に業務用清掃ロボットに出会い、日本ビルメンロボット協議会の前身であるビルメンメンテナンスロボット普及促進コンソーシアムの活動に参画。当社の強みであるレンタルとコンサルティングの融合したレンタルサービスがロボットの普及促進につながることを確信し活動を継続中。

「お掃除ロボットは人間に変わるロボットではなく、ちょっと優秀なお掃除マシンです。人とロボットによる共存による運用次第で、ロボットの活躍の場は大きく広がると確信しています。」



広島工業大学 建築デザイン学科 教授 建築保全業務ロボット研究センター センター長 杉田 洋

1971年、広島県生まれ。大阪芸術大学卒業。芝浦工業大学大学院修了。広島大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。建築保全。株式会社杉田三郎建築設計事務所、広島大学大学院助手を経て2005年より現職。国や自治体の審議委員などを数多く務める建築保全分野の研究者。2018年10月に我が国で初めて設置された「建築保全業務ロボット研究センター」のセンター長を務める保全ロボット研究の第一人者。

「ロボット導入のボトルネックは何なのか?「契約」「作業」「雇用」などについて議論が広がればと思っています」

